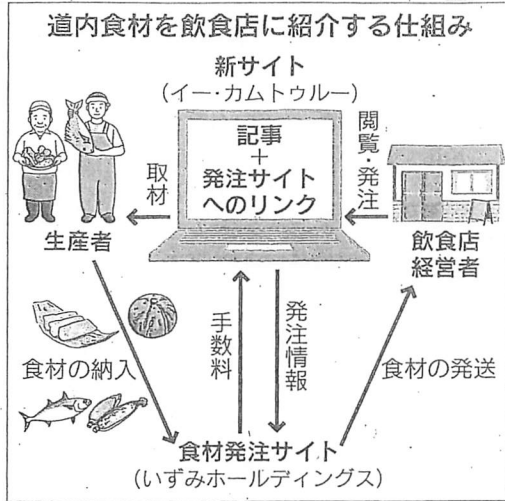


道内食材、飲食店に紹介

新情報サイト

飲食店向け運営支援システム開発のイー・カムトゥルーは11月から、農水産物など道内生産者と食材を全国の飲食店に紹介する新事業を始める。優れた食材を発掘してインターネットで記事を配信し、飲食店からの発注も仲介する。生産者を巡るツアーを企画して従来接点なかった飲食店を組織化するなど関係を構築、本業のシステム販売の拡大につなげる。



イー・カムトゥルー、来月から 店舗システム拡販へ

新事業は外食業界向けの飲食店情報サイト「フードスタジアム(FS)」の北海道版として展開を始める。FSは東京や関西、東海など全国の6つの地域とアジア版があり、それぞれ地元企業などが運営しているが新店開業情報などが中心。道内版独自のサービスとして生産者に焦点を当てる(上田正巳社長)という。FSのブランドを管理するフードスタジアム(東京・渋谷)から使用権を得た。

農水産物などの1次産品やワインなどの加工食品などの食材に関する記事が3割、残りを飲食店情報とする。道内の食産業のトレンド紹介や生産者インタビューなどの長めの読み物も掲載する。記事で取り上げた食材

を発注できる仕組みも導入する。業務用食品卸のいずみホールディングス(札幌市)と提携。記事からいずみホールディングスが運営する発注サイトへのリンクを張って、簡単な操作で食材を購入できるようにする。イー・カムトゥルーは紹介手数料を得る。

FS道内版の開設から1年以内をめどに、400~5000人の閲覧者を集めた会を組織する方針

だ。年会費(1万円前後を予定)を徴収して生産者を訪問する有料のツアーなどを実施する。新事業での年間売上高

は会費収入のほか、食材販売の仲介手数料、サイトでの広告収入など当面、2千万円程度にとどまる見通し。だが、新事業を通じて飲食店との接点を増やし、イー・カムトゥルーの本業である店舗の運営支援システムの販売増につなげていく。